

編集後記

会誌『記録と史料』第18号をお届けします。

- ◇ 出版・編集委員会の事務局は今年度から2年間、鳥取県立公文書館に引き継がれました。各委員への連絡は事務局からEメールが発信されます。担当事務局氏は事務局と委員との間が地理的に遠距離であることを考慮して、Eメールの挨拶文に鳥取の気候や風物を毎回紹介するので、受け取る委員は、その地の様子がわかります。
- ◇ 五島敏芳氏は日本におけるアーカイブズのオンライン総合目録構築にむけてという論考でEADデータについて触れています。今後の目録の在り方のためにもぜひご一読ください。
- ◇ さて今号の特集は2本立てで「ICA/SPA 京都会議」の報告と、「シンポジウム未来への遺産」です。併せてご覧ください。
- ◇ アーカイブズ・ネットワークには5本紹介することができました。紹介された館に足を運んでいただければと思います。
- ◇ 世界の窓では、ニューヨーク在住のジャーナリスト青木富貴子氏にNARAのアーカイブズ事情についてご投稿をいただきました。
- ◇ 前号は休載した会員刊行物情報を2年分掲載しました。各機関には職務ご多忙のな

か、2年分のデータをお寄せいただきました。残念ながら、機関会員すべてから情報が集まったわけではありません。次号では全機関会員の情報を載せたいと思います。そのためには、煩雑でなく、より回答しやすくなるような手段を考えるべきかもしれません。

- ◇ なお編集子の独り言ですが、厚労省の地下書庫や防衛省の書庫にアーキビストはいるのか?と、一連の報道にやきもきしている間に、変化の兆しが見えてきました。

公文書保存に関心の深かった元官房長官が首相となり、新たに公文書管理担当大臣が任命されました。各省庁の行政文書をどう保存すべきか、公文書管理法の制定と国立公文書館制度の拡充をはかるためです。今後の動向をしっかりと見守りたいものです。

- ◇ 会誌は、読者の皆様方の投稿や情報提供によって交流を深め、新しい動向を知らせることができそうです。あらためてご協力をお願い申し上げます。(文書のミュージズ)

[編集・出版委員会]

安藤 隆一 (委員長)

高木 秀彰 (編集長)

相京 眞澄 伊藤 康

岡部 真二 亀岡 哲也

五島 敏芳 白井 哲哉

森内 優子 吉田 千絵

記録と史料 第18号

平成20(2008)年3月31日発行

編集: 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会 編集・出版委員会

〒680-0017 鳥取県鳥取市尚徳町101 鳥取県立公文書館内
電話0857-26-8160 FAX 0857-22-3977

発行: 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会 (会長 荻布 孝)

〒558-0054 大阪府大阪市住吉区帝塚山東2-1-44 大阪府公文書館内
電話06-6675-5551 FAX 06-6675-5552

印刷: 中央印刷株式会社

〒680-1121 鳥取県鳥取市南栄町34番地
電話0857-53-2221 FAX 0857-53-2201